

あなたの「物語」に添える  
新たな一ページを、鶴雅で。



かつてヨーロッパの哲学者は言いました。

人生は物語のようなものだ、と。

「物語」は、時として「旅」という

エピソードを添えることがあります。

その理由は、書棚に並べられた

本のようにさまざま。

これまで歩んできた道を振り返るために、

非日常のなかで心を解放するために、

愛する人との大切な一日を過ごすために。

そして、「物語」の

新たな一ページを開くのです。

季節の移ろいを映し出す水面、

水平線へ溶けてゆく陽を見送る湖畔、

深緑のまばゆき知る森、

先史の民が刻んだ足跡が残る地で、

訪れた人々だけが味わうことのできる

特別な感動を心に記していきます。

あなたは、どんな「物語」を

旅先で綴るのでしょう。

大切な一ページを深めるエピソードが

鶴雅に待っています。

